

平成二十八年学力検査

全日制課程 B

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ学科名と受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(6)ページまであります。(6)ページの次は白紙になっています。受検番号などを記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えはすべて解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

学科名			
科			
受検番号			
第			
番			

3

2

1

国
語

著作権に配慮して掲載を控えています

6

5

4

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して
掲載を控えています

(「何のために「学ぶ」のか(中学生からの大学講義)1」所収

小林康夫「こばやしやすお学ぶことの根拠」による)

(注) ○ [1] [7]は段落符号である。

○ 体系||一定の原理に基づいて組織された知識の全体。

○ 骨肉化||ここでは、自分のものにする事。

○ アクシデント||思いがけない出来事。

(一) ① 世界と自分との間にズレを感じる理由とあるが、その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 人間は自分と自分が住む世界とを明確に分けて理解していること

イ 人間は鳥や魚のように単独では世界の中で生きていけないこと

ウ 人間は自分の住む世界を思いどおりにはつくり替えられないこと

エ 人間は昔から自分の住む世界の中で違和感を抱き続けていること

(二) ② 自足の意味として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 自由自在に動き回ること

イ 不足がないか自ら確かめること

ウ 現状に自ら満足すること

エ 自分の力で成長していくこと

(三) ③ 現代において、人間が行っている世界のつくり替えは、あまりにも高度で複雑だ。とあるが、その説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 現代では、飛行機や鉄道などの大型の機械をつくるために、技術

開発に加えて世界中から資源を集めてくる必要があるということ

イ 現代では、新発見や技術開発を行うために、昔の人間とは比較に

ならないほど多くのことを自然から学ぶ必要があるということ

ウ 現代では、人類の歴史を今後も積み重ねていくために、言葉によ

つて世界の仕組みを記述し後世に伝える必要があるということ

エ 現代では、新しいものをつくり出すために、これまで人間がつく

り出してきたさまざまな学問体系まで学ぶ必要があるということ

(四) ④ 「知らない」力とあるが、知らないことが力になるのはなぜか。

その理由を述べている一文を、第六段落以降の文章中からそのまま抜

き出して、始めの五字を書きなさい。

(五) この文章の表現の特徴として最も適当なものを、次のアからエまで

の中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 想定される反対意見に対して複数の根拠を挙げて反論し、最後に自

分の意見を明らかにすることで、文章に説得力をもたせている。

イ 最初に常識に反する見方を示して読者の注意を喚起し、それを裏

付けるデータを列挙することで、文章に説得力をもたせている。

ウ 主張を述べた後で分かりやすく説明を加えたり、根拠となる具体

的な事例を示したりすることで、文章に説得力をもたせている。

エ 自分の考えのもとになった研究者の見解を詳しく紹介したり、自

分の体験を語ったりすることで、文章に説得力をもたせている。

(六) この文章の内容として最も適当なものを、次のアからエまでの中か

ら選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 若い頃に間違えて記憶した内容は、後の新発見を導く原動力となる。

イ 若い頃に抱いた違和感や疑問は、将来の創造の種となることが多い。

ウ 世界を変える力は、知らないことを恥じる気持ちによって高められる。

エ 知らないことによる失敗は、常識が身に付くことで減る場合も多い。

オ 世界を変えていく力をもつ人間は、最初から常識を信用していない。

二 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

1

2

著作権に配慮して掲載を控えています

3

4

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して
掲載を控えています

(注) (佐渡裕「棒を振る人生 指揮者は時間を彫刻する」による)

(注)

- [1] [7]は段落符号である。
- レナード・バーンスタインはアメリカの指揮者・作曲家。
- プラームスはドイツの作曲家。 ○ CBSはアメリカの放送会社。
- ドキュメンタリーは事実に基づいて制作された番組。
- 調性は音のまとまり。 ○ 混沌は入り混じってなりゆきが分からない様子。 ○ プッチーニはイタリアの歌劇(オペラ)作曲家。
- 没落士族は明治維新後に地位や財産を失った、もと武士階級の人々。
- 中尉は軍隊の階級の一つ。
- 不協和音は不安定な感じを与える和音。
- シューマン、メンデルスゾーンともにドイツの作曲家。

(一) ① これ がさしている内容として最も適当なものを、次のアからエま

での中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 腕を使わずに視線と表情だけでオーケストラの指揮をすること
 - イ オーケストラが演奏している途中で指揮をやめてしまうこと
 - ウ 指揮台の上に寝転がった姿勢でオーケストラを指揮すること
 - エ オーケストラの指揮をしながら聴衆に向かつて問いかけること
- (二) 「A」から「C」にそれぞれあてはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 「A」 しかし 「B」 しかも 「C」 たとえば
 イ 「A」 ところで 「B」 つまり 「C」 または
 ウ 「A」 しかし 「B」 つまり 「C」 たとえば
 エ 「A」 ところで 「B」 しかも 「C」 または

(三) 筆者は第三段落で、指揮者の果たす重要な役割の一つについて述べている。それを要約して、六十字以上七十字以下で書きなさい。ただし、「再現」、「メッセージ」という二つのことばを使って、「指揮者の役割は、……」という書き出しで書くこと。二つのことばはどのような順序で使ってもよろしい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

(四) ② 「解決しない」音で終わる とあるが、その説明として最も適切なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 最後に不協和音が繰り返されることで緊張が緩んで終わること
 イ 最後に協和音が力強く響き渡ることで緊張を保ったまま終わること
 ウ 最後に不協和音から協和音に移行することで緊張が解けて終わること
 エ 最後に不協和音が鳴ることで緊張が解けないまま終わること

(五) ③ 気候や風土を肌で感じることも試みる とあるが、筆者がこのようにする理由として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 曲が生まれた土地の気候や風土は、曲の音に大きな影響を与えており、その関わりを体感することが曲の理解につながるから。
 イ 曲が生まれた土地の気候や風土は、楽譜を通してオーケストラの演奏者にも伝わり、曲を深く理解した演奏につながるから。

ウ 曲が生まれた土地の気候や風土に身を置くことは、当時の人々の生活だけでなく、作曲家の歴史観を理解することにつながるから。

エ 曲が生まれた土地の気候や風土に身を置くことは、四季折々の色彩に加え、作曲家の自然観を理解することにつながるから。

(六) 次のアからエまでのの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア オーケストラは、指揮者が指揮棒を振らなくても演奏を続けることができるため、指揮者を不要な存在であるとみなしている。

イ 日本人指揮者は、音符という共通言語で書かれた楽譜を用いて、外国のオーケストラに自分のイメージする音楽を伝えている。

ウ ヨーロッパの作曲家は、滞在した土地での人々の暮らしや歴史的な出来事を題材として、多くの交響曲やオペラを書いている。

エ オーケストラの指揮者は、自分では音を出さずに楽譜を介して演奏者とコミュニケーションを図り、演奏をつくり上げていく。

オ ヨーロッパの噴水は、陽光にきらめく姿とリズムカルな音によって水の美しさを表現しており、音楽と共通している点がある。

三 次の(一)、(二)の問いに答えなさい。

(一) 次の①から③までの文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 行事の成功に向けて、緻密な計画を立てる。

② 搭乗前に、航空会社の係員に荷物をアズける。

③ 発表に備えて、サツソク準備を始めた。

(二) 次の④の文中の傍線部と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

④ 弱者の側に立つ彼女の姿勢は、シユビー貫している。

ア シユセキで卒業する。 イ シユジクとして活躍する。

ウ 研究にチャクシユする。 エ 相手にセンシユ点を与える。

四 次の漢文（書き下し文）を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。（本文の……の左側は現代語訳です。）

貞観の初、太宗、蕭瑀に謂ひて曰はく、「朕、少きより弓矢を好む。自ら謂へらく、能く其の妙を尽くせり。近ごろ良弓十数を得、以て自分では、その極意を自分のものにできたと思つていた。」

弓工に示す。工曰はく、「皆、良材に非ざるなり。」と。朕、其の故を弓の職人よに材料ではありませぬ

問ふ。工曰はく、「木心正しからざれば、則ち脈理皆邪なり。弓、剛勁なりと雖も、箭を遣ること直からず。良弓に非ざるなり。」と。

朕、始めて悟る。朕、弧矢を以て四方を定め、弓を用ふること多し。而るに猶ほ其の理を得ず。況んや、朕、天下を有つの日浅く、治を為すの意を得ること、固より未だ弓に及ばず。弓すら猶ほ之を失す。何ぞ況んや治に於てをや。」と。

（『貞観政要』による）

（注）○太宗は唐の第二代皇帝の李世民のこと。天下を統一し、その治世は貞観の治と呼ばれる。

○蕭瑀は太宗の家臣。

○朕は皇帝の自称。

○脈理はここでは、木目のこと。

○弧矢は「弓矢」に同じ。

(一) 良弓に非ざるなり とあるが、その理由として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 木目の幅が広く材質の柔らかい材料を使っているから。

イ 木目がまつすぐに通っていない材料を使っているから。

ウ 木目の幅が狭く反発力の高い材料を使っているから。

エ 木目がきれいな弧を描いていない材料を使っているから。

(二) 其の理を得ず とあるが、太宗の自分自身に対する認識を表すことばとして最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 不屈

イ 無骨

ウ 未熟

エ 非才

(三) 治を為すの意を得ること の説明として最も適当なものを、次のアからエまでのの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 強大な軍事力で天下統一を果たしたとしても、庶民の生活を軽視した政治を行えば国が衰退することは必然である。

イ 自分では熟達したと思つていても不十分な点は残つてい

ウ 武芸の道に熟達するためには幼少時から厳しい訓練を積むことに加えて、よい道具を選ぶ目を養うことが重要である。

エ 世の中の役に立つ人間となるには優れた見識をもつ専門家から学び、自分の能力を磨きをかけることが必要である。

第一時限

国

語

一	(一)		(二)		※一 <input type="checkbox"/>
	(三)		(四)		
	(五)		(六)		

二	(三)	(一)		(二)		※二 <input type="checkbox"/>
		指		割		
		揮		は		
		者				
		の				
		役				
	(四)		(五)		70 60	
	(六)					

三	(一)	①		②	ける	※三 <input type="checkbox"/>
	③		(二)	④		

四	(一)		(二)		※四 <input type="checkbox"/>
	(三)		(四)		

学科名	科	受検番号	第	番	得点	※
-----	---	------	---	---	----	---

(注) ※印欄には何も書かなくてよい。